

広酪西部ミルク会

2/13 西部事業所会議室

広酪西部ミルク会(砂子靖子会長)は、恒例のフラワーアレンジメント教室を開催し、講師に岡広先生(写真下右から3番目)を招いた。

岡広先生は春を先取るフレッシュな創作を心がけるようアドバイスされ、会員らは手慣れた様子で作品作りに夢中になっていた。会員らは、それぞれが思いを込めた作品を持ち帰り、夕方の搾乳前には「お父さんに日頃の感謝を込めて有り難う」と言葉添えて手渡したいと胸を弾ませて帰路に着かれた。

## お父さんに感謝を込めて プレゼント



広酪西部ミルク会

1/23 西部事業所会議室

## 機械施設の導入助成を求めたい



広酪西部ミルク会(砂子靖子会長)は、新年互礼会と併せて研修会を開催し15名が参加した。

研修会では、隅屋寒三専務(広酪)が最近の酪農情勢を伝達し、西原会員からは「広酪の乳用牛導入や自家育成生産に向けた雌雄判別精液等の助成も良いが、リフト等機械施設の導入助成もお願いしたい」との要望があった。

懇親会では例年の如く、各自手作りの差し入れを持ち寄り盛会に行き、砂子会長は2月13日にはフラワーアレンジメント、4月3日は総会の開催と、多数会員が出席されるように呼びかけた。

広酪西部地域組合員連絡協議会

1/22 広島市

## 尺八の生演奏に感激

広酪西部地域組合員連絡協議会(岡崎博昭会長)は、新年互礼会を開催し、会員他14名が参加した。

岡崎会長は挨拶で「今年は飼料高騰等厳しい酪農情勢が懸念される。知恵を絞って一緒に頑張ろう」と会員に呼びかけた。

研修会では、隅屋寒三専務(広酪)が最近の酪農情勢を伝達し、懇親会では久保田会員が新年を祝って尺八の生演奏を披露され、会員は初めて聴く生演奏に感激し、楽しく懇親を深めることが出来た。



「第二十一回東部管内組合員交流会」

東部地域全体の組合員交流会

五十八名が満面の笑顔で親睦を深める

東部活性化連絡協議会(山本芳紀会長)は、年に一度行う東部地域の組合員全体の交流会を開催した。この会は二十一回目を数え、東部地域管内の各地域協議会が幹事と会場を持ち回りでを行い、会員相互の交流を深める恒例の行事となっている。

今年は甲奴郡酪農組合(伊達薫組合長)が幹事を担当し、組合員四十四名、広酪をはじめ山陽乳業(株)、全酪連の職員らを含め総勢五十八名が参加して盛大に開催された。

司会進行は、道田稔弘副組合長(甲奴郡酪農組合)が担当し、山本会長の開会挨拶に続き、伊達組合長から「皆さんようこそ。今日は

楽しんで帰って下さい」と歓迎の言葉を添えて挨拶した。来賓からは隅屋寒三専務(広酪)がT P Pに触れた酪農情勢を交えて挨拶し、その後、宴会場に移動し、木原正勝社長(山陽乳業(株))からは東部地域の良質乳出荷に対しての御礼が述べられ、広島県産「ひろしま搾り」で乾杯を行った。

久々の顔合わせとあって、あちこちで積もる話や笑い声が聞こえ、終始和やかであった。特に東部事業所の職員全員による「あたりまえ体操」の披露には、会場から大きな拍手が送られた。

楽しい交流会はアツという間に閉会の時間を迎え、来年度の幹事となる神石地域酪農生産振興協議会の河上康則会長から「組合員が減るのは大変寂しい。来年も参加者が減少することなく皆さんでは非おいで下さい」と挨拶し、参加者全員の本締めで閉会した。閉会後も話題は途切れず、二十一回を数える交流会は有意義かつ盛大に開催することができた。



(歓迎の挨拶をする伊達薫組合長)



あたりまえ たいそ〜!



総会開催  
新会長に西原嘉一氏

千代田町酪農協議会(柿原徳則会長)は総会を開催し、会員7名(1名欠席)が出席した。

議題は平成24年度収支決算並びに平成25年度事業予算を上程し、何れも承認した。役員改選では任期を3年間として、新会長に西原嘉一氏、会計に柿原徳則氏、監査に後案悟氏を選任した。

懇親会では、北広島町長をはじめ関係団体から21



名が参加し、親睦を図った。会員らは町長に酪農窮状を訴え、協同乳業(株)の社長には乳価値上げを直談判する等、有意義な懇親会であった。